

子ども手当、介護総点検、消費生活センター及びブックスタート事業について

公明党 川上 雄次



平成22年度予算編成、駅北側の街づくり及び道路問題について

やちまた21

加藤 弘



子ども手当について

問 「子ども手当」による本市の負担額について伺う。

市長

本市の負担額は、1億9千537万8千円ですが、今後は地方負担がないよう要望していきたいと考えています。

介護施策の充実について

問 私たちの会派「公明党」の4人を含め、全国3千64人の公明党議員が一丸となって、2009年11月から12月にかけて全国47都道府県、約10万人の生の声を聞き、「介護総点検」を実施した。千葉県で行われた総点検の調査結果は、長谷川市長並びに担当課へ届けたが、要望の多い特別養護老人ホームなど、待機者解消策の実効性のある実施計画について伺う。

市長

本市では、特別養護老人ホームの待機者の解消を図る

ため、介護保険施設のうち既存の介護老人福祉施設の増床整備を図ることを第4期介護保険事業計画で見込んでおり、1施設30床を増床して平成23年度の開所を予定し、現在、増床計画の早期実現に向け、事業者とともに県と協議を重ねています。

市長

悪質商法による消費者トラブルが増えているが、本市の市民を守る施策について伺う。

消費者相談について

市長

平成22年度より、相談窓口としての機能をより強化した消費生活センターを設置します。センターにすることにより、消費者庁及び全国の消費生活センターなどと情報の共有化ができますので、より一層、消費者行政の充実が図れると考えています。

市長

在宅医療廃棄物について

市長

家庭から排出される

在宅医療廃棄物について

感染可能性のある医療用注射針や点滴針等は医師等による医療機関への持ち帰りが従来より定着していると同つています。非感染性の一般廃棄物については、今後、関係機関と連携を図り、適正処理に努めるとともに、広報紙等で周知を図っていききたいと考えています。

市長

「在宅医療廃棄物」が問題となっているが、適正処理のための施策を伺う。

市長

文字・活字文化に幼少時から触れて、親しむことは大きな財産です。そこでブックスタート事業の導入について伺う。

ブックスタートについて

市長

子どもの読書に対する保護者の関心を高める必要があることから、今後、新たに乳幼児サービスを進めていこうと考えていることから、ブックスタート事業の導入について

市長

平成22年度予算編成について

市長

八街駅北側の街づくりについて

市長

「市の顔」としてふさわしい高度な都市機能の完成はいつ、どのようにできるのか伺う。

平成22年度予算編成について

平成22年度予算編成において、新規事業に対する財源はどのように確保されたのか伺う。

市長

市道114・116・210号線改良事業、地域安全パトロール事業、耐震診断補助金、テニスコート夜間照明設置等については、国・県の補助事業、雇用創出事業及び起債等を活用し、財源を確保しました。また、新たに始める前立腺がん検診、さらに小学校6年生まで拡大した児童医療費助成事業等の充実事業等については、既存の事業等をゼロベースから見直した上で財源を確保しました。

市長

八街駅北側地区土地区画整理事業については、駅周辺の活性化や市の顔としてふさわしい街づくりを行うために、重要な事業であると考えています。進捗状況については、現在、国道409号に下水道雨水管・汚水管・上水道管・ガス管を順次整備しており、その後、県において電線共同溝及び歩道の整備を行う予定となっております。平成21年度末で、約97パーセントの整備率を見込んでいます。

市長

市長

公共核施設、商業核施設用地は、今後どのように展開されていくのか伺う。

道路問題について

市長

現在、事業を進めています市道文違1号線の道路改良事業や平成22年度から予定している元一休前の交差点改良工事の進捗状況など他の事業との優先順位や費用対効果などを検証しながら、今後の整備計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

市長

現在、事業を進めています市道文違1号線の道路改良事業や平成22年度から予定している元一休前の交差点改良工事の進捗状況など他の事業との優先順位や費用対効果などを検証しながら、今後の整備計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

市長

現在、事業を進めています市道文違1号線の道路改良事業や平成22年度から予定している元一休前の交差点改良工事の進捗状況など他の事業との優先順位や費用対効果などを検証しながら、今後の整備計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

市長

現在、事業を進めています市道文違1号線の道路改良事業や平成22年度から予定している元一休前の交差点改良工事の進捗状況など他の事業との優先順位や費用対効果などを検証しながら、今後の整備計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。